

ダニエル書 12章 The End Times

12:01 **その時** (→終わりの時 11:40)、**大天使長ミカエル** (=誰が神のようになれるか) **が立つ** (→再臨前審判〈恩恵期間〉の終了後に起こる、イエス・キリストの再臨の預言)。

彼はお前の民の子らを守護する。その時まで、苦難が続く／国が始まって以来、かつてなかったほどの苦難が。

しかし、その時には救われるであろう／お前の民、(神の民すべての人が記されている) **あの書** (→再臨前審判の時に、信徒〈聖徒〉を擁護し救うために開かれるとされる、「命の書」) に記された人々は。

→だが、あなたの同胞のうち、**いのちの書**に名が記されている者は、みなその苦しみを耐え忍ぶことができる。: LB

→**ミカエル**: 「神に似たるものは誰か」(mī 疑問詞「誰」+kə「~のような」+hā'el「神」という意味で、「タルムード」では「誰が神のようになれるか」という反語と解される。

※イエス・キリストは天の聖所での大祭司の働きを終え、**王の衣をつけて聖所から出て、再臨される。**

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 14 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K 出エジプト記	32:32 今、もしもあなたが彼らの罪をお赦しくださるのであれば……。もし、それがかなわなければ、どうかこのわたしをあなたが書き記された書の中から消し去ってください。」	
K 詩編	56:9 あなたはわたしの嘆きを数えられたはずです。あなたの記録に／それが載っているではありませんか。あなたの革袋にわたしの涙を蓄えてください。	
K 詩編	69:29 命の書から彼らを抹殺してください。あなたに従う人々に並べて／そこに書き記さないでください。	
K イザヤ書	4:3 そしてシオンの残りの者、エルサレムの残された者は、聖なる者と呼ばれる。彼らはすべて、エルサレムで命を得る者として書き記されている。	
K イザヤ書	65:6 見よ、わたしの前にそれは書き記されている。わたしは黙すことなく、必ず報いる。彼らのふところに報いる。	
K マラキ書	3:16 そのとき、主を畏れ敬う者たちが互いに語り合った。主は耳を傾けて聞かれた。神の御前には、主を畏れ、その御名を思う者のために記録の書が書き記された。	
S ルカによる福音書	10:20 しかし、悪霊があなたがたに服従するからといって、喜んではならない。むしろ、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」	
S フィリピの信徒への手紙	4:3 なお、真実の協力者よ、あなたにもお願いします。この二人の婦人を支えてあげてください。二人は、命の書に名を記されているクレメンスや他の協力者たちと力を合わせて、福音のためにわたしと共に戦ってくれたのです。	
S ヨハネの黙示録	3:5 勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。わたしは、彼の名を決して命の書から消すことはなく、彼の名を父の前と天使たちの前で公に言い表す。	
S ヨハネの黙示録	13:8 地上に住む者で、天地創造の時から、屠られた小羊の命の書にその名が記されていない者たちは皆、この獣を拜むであろう。	
S ヨハネの黙示録	17:8 あなたが見た獣は以前はいたが、今はいない。やがて底なしの淵から上って来るが、ついには滅びてしまう。地上に住む者で、天地創造の時から命の書にその名が記されていない者たちは、以前いて今はいないこの獣が、やがて来るのを見て驚くであろう。	
S ヨハネの黙示録	20:12 わたしはまた、死者たちが、大きな者も小さな者も、玉座の前に立っているのを見た。幾つかの書物が開かれたが、もう一つの書物も開かれた。それは命の書である。死者たちは、これらの書物に書かれていることに基づき、彼らの行いに応じて裁かれた。	
S ヨハネの黙示録	20:15 その名が命の書に記されていない者は、火の池に投げ込まれた。	
S ヨハネの黙示録	21:27 しかし、汚れた者、忌まわしいことと偽りを行う者はだれ一人、決して都に入れない。小羊の命の書に名が書いてある者だけが入れられる。	

02 多くの者が地の塵の中の眠りから目覚める。①ある者は**永遠の生命** (→ダニエル書 12 : 2 のみの表現で、聖書協会共同訳では他と同様に「永遠の命」に改訂) に入り／②ある者は**永久に続く恥と憎悪の的**となる。

→死んで葬られた者のうち、多くの者が生き返る。ある者は**永遠のいのち**へ、ある者は**永遠のはずかしめ**へと。: LB

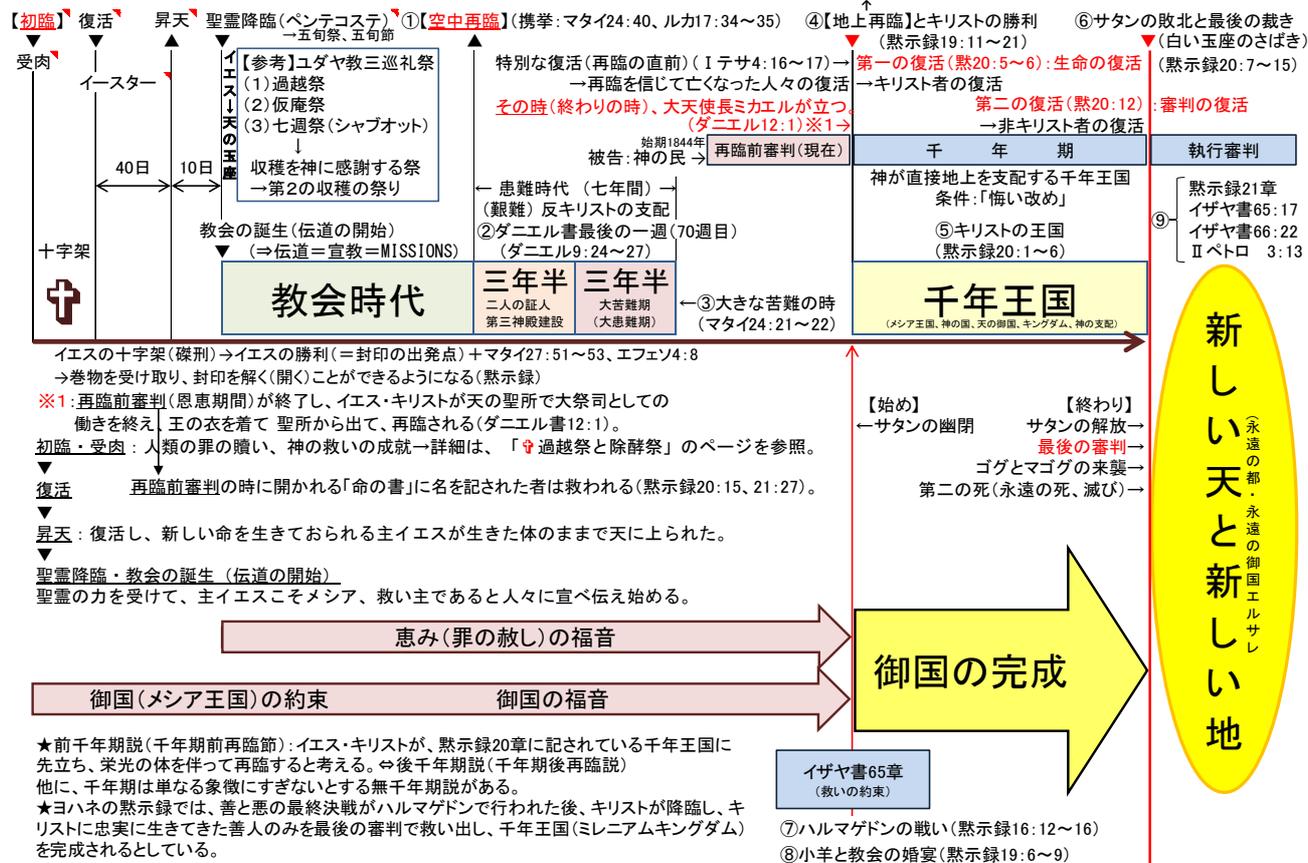
→再臨の時に復活する①の者たちと同時に、なぜか、第二の復活に与かる②の者たちも含まれている。これは、①の者たちと同じく、**永遠の命**を受けるために復活しているのではなく、①自分たちが嘲り侮辱した方 (イエス・キリスト) が、本当に神の子であるかを見極めさせるために、そして、②イエス・キリストに忠実だった①の者たちの勝利の栄誉を見させるために復活させられている (→**特別復活**) ののである (神から参観の機会を与えられただけで、①の者たちのように復活することはできない)。

→旧約聖書における復活の思想は非常にまれである。ここでは迫害にあって死んだ人々の復活について言及している。→イザヤ書 26 : 19、マタイ 25 : 46、ヨハネ 5 : 29

→復活には、「第一の復活」と「第二の復活」がある。

- ・ **第一の復活** イエス・キリストが再臨される時に、罪から贖われた義人 (キリスト者) たちは**永遠の命**を受ける。=====**生命の復活**
→黙示録 20 : 5~6、テサロニケの信徒への手紙一 4 : 16~17
- ・ **第二の復活** 再臨から 1000 年後に、罪からの贖いを受け入れなかった罪人 (非キリスト者) が**火で焼き尽くされる** (?) 審判を受ける。=**審判の復活**
→黙示録 20 : 12、ヨハネによる福音書 5 : 28~29

✠ **キリストの初臨から新天地 (新しい天と新しい地) までの出来事** Marana tha / Come, O Lord !



03 目覚めた人々は大空の光のように輝き／多くの者の救いとなった人々は／とこしえに星と輝く。

→賢い神様の国民は、太陽のように明るく輝く。多くの人を正しい道に導く者は、いつまでも星のようにきらめく。：LB

04 ダニエルよ、終わりの時が来るまで、お前はこれらのことを秘め、この書を封じておきなさい。多くの者が動揺するであろう。そして、知識は増す。」

→But you, Daniel, roll up and seal the words of the scroll until the time of the end. Many will go here and there to increase knowledge.” (【NIV】NEW INTERNATIONAL VERSION)

→ “But you, Daniel, shut up the words, and seal the book until the time of the end; many shall run to and fro, and knowledge shall increase.” (【NKJV】NEW KING JAMES VERSION)

→ところで、ダニエルよ、この預言を人に知らせるな。旅行や教育が普及する終わりの時がくるまで、だれにも悟られないように、この預言のことばを封じておけ。：LB

→④この12：4で、11：20「彼は言った。」の次から始まった「南と北の王」の話は終わる。

05 わたしダニエルは、なお眺め続けていると、見よ、更に（天使ガブリエルの宣言12：7の証人となる）

二人の人（→天使）が、川の兩岸に一人ずつ立っているのが見えた。

→律法では、立証のためには二人または三人の証人が必要とされる（申命記19：15）。

06 その（天使の）一人が、川の流れの上に立つ、**あの麻の衣を着た人**（→天使ガブリエル）に向かって、

「これらの驚くべきことはいつまで続くのでしょうか（→いつになったら、この恐ろしいことがすべて終わるのですか：LB）」と尋ねた。

→**あの麻の衣を着た人** 麻＝亜麻布：亜麻の繊維を原料とした織物、仏語ではリンネル(linière)。

07 すると、川の流れの上に立つ、**あの麻の衣を着た人**（→天使ガブリエル）が、左右の手を天に差し伸べ、**永遠に生きるお方**によってこう誓うのが聞こえた。

「一時期、二時期、そして半時期たって（→一年、二年と、半年の間がたって：聖書協会共同訳）、

聖なる民の力が全く打ち砕かれると、これらの事はすべて成就する。」

→その方は両手を高く天に上げ、永遠に生きておられる方を指して誓うように答えました。「神様の国民の勢力が打ち砕かれてから三年半が過ぎるまでは、終わりません。」：LB

→一時期、二時期、そして半時期（→一年、二年、そして半年＝1＋2＋0.5＝3.5年、3.5年×360日/年＝1260日→1260年）←「1日1年」の法則（民数記14：34、エゼキエル書4：6）

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数:6ヶ所/聖書聖句等の総数33250]	43522 (新共同訳)
K ダニエル書	12:7 すると、川の流れの上に立つ、あの麻の衣を着た人が、左右の手を天に差し伸べ、永遠に生きるお方によってこう誓うのが聞こえた。「一時期、二時期、そして半時期たって、聖なる民の力が全く打ち砕かれると、これらの事はすべて成就する。」	
S ヨハネの黙示録	11:2 しかし、神殿の外の庭はそのままにしておけ。測ってはいけない。そこは異邦人に与えられたからである。彼らは、四十二か月の間、この聖なる都を踏みじめるであろう。	
S ヨハネの黙示録	11:3 わたしは、自分の二人の証人に粗布をまとわせ、千二百六十日の間、預言させよう。」	
S ヨハネの黙示録	12:6 女は荒野野へ逃げ込んだ。そこには、この女が千二百六十日の間養われるように、神の用意された場所があった。	
S ヨハネの黙示録	12:14 しかし、女には大きな鷲の翼が二つ与えられた。荒野野にある自分の場所へ飛んで行くためである。女はここで、蛇から逃れて、一年、その後二年、またその後半年の間、養われることになっていた。	
S ヨハネの黙示録	13:5 この獣にはまた、大言と冒涇の言葉を吐く口が与えられ、四十二か月の間、活動する権威が与えられた。	

08 こう聞いてもわたし（ダニエル）には理解できなかったので、尋ねた。「主よ（→10：16、10：19と同じく、“lord”が使われており、通常の“Lord”ではない）、これらのことの終わりはどうなるのでしょうか。」

09 彼（→天使ガブリエル）は答えた。→▶・・・◀

▶「ダニエルよ、もう行きなさい。終わりの時までこれらの事は秘められ、封じられている。

→その方は言いました。「ダニエルよ、さあ行け。私が言ったことは、終わりの時がくるまで理解されない。：LB

10 多くの者は清められ、白くされ、練られる。逆らう者はなお逆らう。逆らう者はだれも悟らないが、目覚めた人々は悟る。

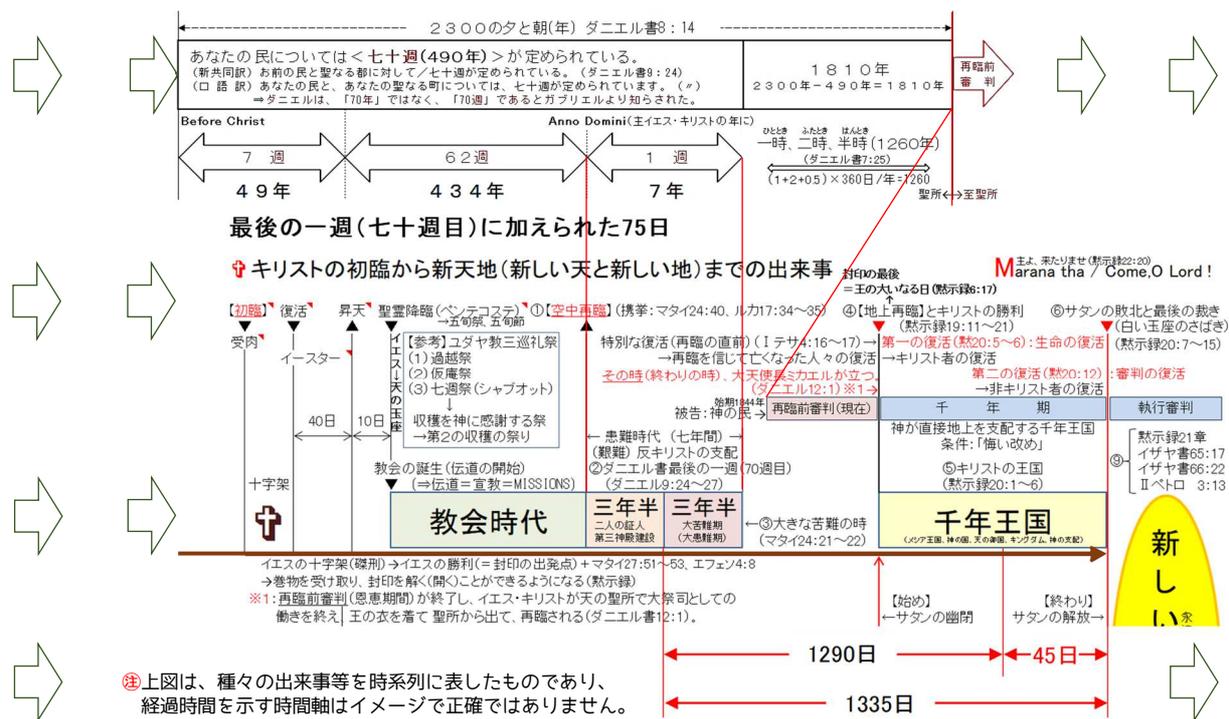
→多くの者は、激しい試練や迫害によってきよめられる。悪者は悪の中に生き続け、一人として悟る者がない。進んで学ぼうとする者だけが、その意味を知るようになる。：LB

11 日ごとの供え物が廃止され、**憎むべき荒廃をもたらすもの**が立てられてから、**千二百九十日**が定められている。

→毎日のささげ物が取り除かれて、『恐るべきもの』が礼拝されるために据えられてから、千二百九十日もある。：LB

12 待ち望んで**千三百三十五日**に至る者は、まことに幸いである。

→なお忍耐して千三百三十五日に至る者は、なんと幸いなことよ。：LB



11、12 節では、大患難（苦難）期についての期間が預言されている。1年を360日（30日/月）とするユダヤ暦の計算によれば、その始まりは、**憎むべき荒廃をもたらすもの**が聖所に据えられた時から数えて、**千二百九十日**すなわち、三年半と一か月（=3年7か月=43か月=1290日）という期間になる。

黙示録では「千二百六十日」（三年半）とされている（参照：前頁）。

さらに、最終的な勝利を得るまでの忍耐の期間として**千三百三十五日**すなわち、三年半と二ヶ月半（3年8か月半：3年と8.5か月×30=1335日）が預言されている。

日数差45日は、サタンが地上を荒らした足跡が一扫され、地上が清められるために必要な期間である。

13 終わりまでお前の道を行き、憩いに入りなさい。時の終わりにあたり、お前に定められている運命に従って、お前は立ち上がるであろう。」 ◀ (天使ガブリエル)

→ところで、あなたは自分の人生を全うし、休みに入るがよい。あなたは生き返り、終わりの時に受けるべき分(→分け前、割り当て)を完全に受けるようになる。」:LB

→あなたは終わりまで自分の道を行け。そして、憩いに入れ。あなたは終わりの日に、あなたの受ける分を得て立つであろう。」:聖書協会共同訳

→ “As for you, go your way till the end. You will rest, and then at the end of the days you will rise to receive your allotted inheritance.”

→旧約聖書における復活の思想は非常にまれである。→イザヤ書 26:19、マタイ 25:46、ヨハネ 5:29

・イザヤ書 26:19

あなたの死者が命を得／わたしのしかばねが立ち上がりますように。塵の中に住まう者よ、目を覚ませ、喜び歌え。あなたの送られる露は光の露。あなたは死霊の地にそれを降らせられます。

・マタイによる福音書 25:46

こうして、この者どもは永遠の罰を受け、正しい人たちは永遠の命にあずかるのである。」

・ヨハネによる福音書/05章 29節

善を行った者は復活して命を受けるために、悪を行った者は復活して裁きを受けるために出て来るのだ。

【参考】 幻の種類・・・①ハズン、②マレ

①ハズン (ヘブライ語): 聖霊の靈感を受けてみる一般的な幻。

②マレ (ヘブライ語): 幻を見ている中で、キリストや天使などの聖なる存在が現れて、メッセージを直接伝えるもので、「幻の中の幻」「啓示の中の啓示」とも呼ばれる。

【参考】 ダニエル書の成立年代

ダニエル書の成立年代については諸説あるが、幻の中で示されていることの多くは、ユダヤ人に対して棄教を迫ったアティオコス4世エピファネスの過酷な政策を指している点ではほとんど一致している。ダニエル書が捕囚時代のBC6世紀に書かれたとすれば、幻は何世紀も後に起こる出来事の預言であり、また、アティオコス4世エピファネスの治世のBC2世紀中に書かれたとすれば、著者が当時置かれていた歴史状況において経験したことに基づき、記述したものということになる(11章の記述については、個人的にはこの見解である)。

いずれにしてもダニエル書は苦難と迫害の中にある人々に、神の力強さを示す大きな証しとなっている。

参考: 聖書スタディ版(2006年9月15日発行) 各書の概説 ダニエル書 P.40